

# 日本RNA学会会報

No.13 (2005年12月)

## 目次

巻頭言 .....	1
日本RNA学会 第3期役員 役員会議事録 .....	2
日本RNA学会 第6回総会報告 .....	3
日本RNA学会 第4期評議員選挙について .....	4
2004年度日本RNA学会収支決算報告書 .....	6
2005年度収支予算 .....	9
第8回RNAミーティング(日本RNA学会年会)の 準備状況について .....	10
自動引き落とし開始のお知らせ .....	11

日本RNA学会  
(THE RNA SOCIETY OF JAPAN)

[wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/](http://wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/)

## 巻頭言

自然科学研究機構 志村 令郎

名誉会員にして頂いたのを機会に、私が日本RNA学会の会員の皆さんに期待していることを述べさせて頂くことにする。本学会は、発足してから約6年余の間、関係各位の努力により順調に発展してきているが、一方、学会を取り巻く情勢はかなりの変化が起こっている。この間、学术研究のための予算はかなり増額されてきており、また、従来、我が国の學術の研究に主導的役割を果たしてきた国立大学や大学共同利用機関は、2004年4月以降法人化された。その結果、様々なかたちで我が国の學術のあり方が変化してきている。最近の學術の動向、とりわけ自然科学のあり方やそれに対する研究者の姿勢に、私は多少の危惧を抱いている。

法人化後の国立大学や大学共同利用機関においては、それ以前にはそれほど強調されなかった「経営」という概念が強く導入された。その結果、最近の自然科学の研究においては、近視眼的に「役に立つ」とか「応用性のある」といった観点や「効率化」といった考え方が著しく重要な問題になり、産学協同もかつてないほどに強調されてきている。それは決して悪いことではないが、問題なのはカネ儲けを優先させて、研究者にとって本来大切な基礎研究が、ともすればおろそかになっているのではないかと、しばしば感じられることである。大学等を運営する側の間でも、マネジメントに関する議論は活発であるが、學術の動向に対する議論は希薄である。一方、国の方からは重点分野が指定され、また特定なプロジェクトが設定されて、巨額なカネがドカンとばらまかれるといった風潮がある。このような中においては、研究者の発想に基づく學術は、大きな影響、それもネガティブな影響を受けるのは、やむを得ない仕儀かも知れない。

我が国のRNAの研究者も、好むと好まざるとにかかわらず、このような大きな波風の影響を受けていると思われる。しかし、そのような風潮の中にあるときこそ、基礎研究に携わる研究者は、時流に安易に流されずに自分をしっかりと見据えて、愚直に自らの研究を発展させていって欲しいものである。

自然科学の研究は、決して賞をとるためのものではない。私自身、往年を振り返って考えると、研究者はその成果によって、自らの知的満足を得ることができ、また、自然の謎を解明していくことの醍醐味を享受することができるのである。研究者は、サイエンスに対して、驕ることなく謙虚でなくてはならない。大きなカネを手に入れてバブルに踊り、またカネや名声のために研究者としての原点を忘れるようなことは、決してあってはならない。このことを忘れると、研究者は傲慢になり、大きな過ちを犯すことにもなりかねない。日本RNA学会が、RNAに関する研究をひたむきに愛し、誠実に研究する者の集団であり続けることを、切に願っている。

## 日本RNA学会 第3期役員 役員会議事録

日時： 2005年8月9日(火) 午後12時00分～午後1時15分

場所： 弘前大学創立50周年記念会館 会議室

出席者

評議員： 井上邦夫、井上 丹、内海利男、坂本 博、塩見春彦、志村令郎、  
谷 時雄、松藤千弥

役員： 太田成男、河合剛太、鈴木 勉、武藤あきら、吉久 徹  
渡辺公綱（会長）

オブザーバー： 中村義一

欠席者： 大野睦人

1. 渡辺会長が挨拶を行った。
2. 鈴木庶務幹事より、会員数の推移報告、学会事務センターの破産事件に関する報告、その他の活動報告が行われた。
3. 河合会計幹事より、2004年度の会計収支決算報告が行われた。すでに会計監査により適正な予算執行と認められたことが確認され、収支決算報告を承認した。続いて、2005年度の会計収支予算案が提出され、これを承認した。
4. 武藤集会幹事より、第7回年会の開催状況について報告がなされた。
5. 第7回総会の議長・副議長として、岡田典弘氏、神津知子氏を推薦することとなった。
6. 第8回年会世話人の塩見春彦評議員から、第8回年会は2006年7月18日(火)から20日(木)に淡路夢舞台国際会議場で開催予定であることが説明された。また、第9回年会は饗場弘二氏に世話人を依頼し、名古屋で開催することとなった。
8. 渡辺会長より第4期評議員選挙について説明があり、選挙管理委員を鈴木庶務幹事、廣瀬哲郎氏、富田耕造氏に委嘱することが報告された。
9. 被選挙者名簿を会報に記載することに関して、総会で諮ることとなった。
10. 渡辺会長より志村令郎評議員を名誉会員に推薦することが発議され、満場一致で承認された。

(庶務幹事：鈴木 勉)

## 日本RNA学会 第7回総会報告

日時： 2005年8月10日(水) 午後17時30分～午後18時40分

場所： 弘前大学創立50周年記念会館

1. 渡辺会長が開会挨拶を行った。
2. 総会議長に岡田典弘氏、副議長に神津知子氏を選出した。
3. 岡田議長より、220名の正会員（委任状15通を含む）が総会に参加しており、総会成立に必要な100名を越えていることが報告された。
4. 鈴木庶務幹事より、以下の報告が行われた。
  - ・ 2005年7月31日現在、正会員589名（一般会員355名、学生会員220名）、寄贈・賛助会員が14社である。
  - ・ 学会事務センターの破産事件に関する経緯と学会の対応等の報告がなされた。
  - ・ 第8回年会（2006年度）を淡路島で、第9回年会（2007年度）を名古屋で開催予定である。
  - ・ 特許庁指定の学術団体に認定され（7/22付け）特許法第30条「新規性喪失の例外」が適用される旨が報告された。
  - ・ 学会ホームページ運営について、長年、管理維持を行っていただいた谷評議員から、(株)クバプロに委託することとなった。
  - ・ 学生会員から一般会員への身分変更のお願いがあった。
  - ・ 第4期評議員選挙（公示11月頃の会報）において、被選挙者名簿（名前と所属）を会報に掲載することが提案され、承認された。
5. 河合会計幹事より、2004年度の会計収支決算書が提出・説明され、異議なく承認された。
6. 河合会計幹事より、2005年度の会計収支予算案が提出・説明され、異議なく承認された。また、(株)クバプロに委託している会計管理業務についての説明がなされた。
7. 渡辺会長より志村令郎評議員を名誉会員に推薦することが発議され、承認された。また、志村名誉会員よりあいさつがあった。
8. 武藤集会幹事より、第7回年会の開催状況について報告がなされた。
9. 第8回年会世話人の塩見春彦評議員から、第8回年会は2006年7月18日(火)から20日(木)に淡路夢舞台国際会議場で開催予定であることが説明された。
10. 岡田議長により、閉会の挨拶があり、総会が終了した。

(庶務幹事：鈴木 勉)

## 日本RNA学会 第4期評議員選挙について

日本RNA学会会則第11条と同細則第7条によって、第4期評議員選挙を行います。第4期評議員の任期は、2006年4月1日から2008年3月31日です。具体的には下記のように選挙を行うことになりましたので、会員各位のご協力をお願い致します。

### 記

今回の選挙における選挙権者、被選挙権者は2005年12月までに入会手続きを行った正会員とします。正会員の中から10名を選んで、その氏名を同封の投票用紙にご記入下さい。投票用紙を同封の小封筒（「投票用紙在中」と印刷）に入れ、封をした後、同封の送付用封筒（「日本RNA学会選挙管理委員会御中」と印刷）に入れて、ご自分の住所、所属、氏名をご記入の上ご送付下さい。

なお、日本RNA学会細則第7条の規定（右ページ参照）によって、すでに3期連続して評議員を務めている下記の4名の方々は、第4期評議員の被選挙権がありません。下記の方々には、投票なさらないようお願いいたします。

井上 丹      坂本 博      志村令郎      谷 時雄

投票締切日： 2006年2月28日(火)必着

投票者の決定：得票数の多い順に10名を当選者とします。同数得票の場合は年長順とします。投票結果は、学会ホームページと会報にて公表予定です。

なお、次の場合には投票が無効となりますので、ご注意ください。

- 1) 投票用紙に11名以上連記した場合。ただし10名未満の場合は有効です。
- 2) 投票者の氏名が送付用封筒に記入されていないとき。

第4期評議員選挙 選挙管理委員会

鈴木勉  
廣瀬哲郎  
富田耕造

### 【参考】

#### 会則（抜粋）

第10条 本会には、会長1名、評議員若干名、会計監査2名の役員をおく。

1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 評議員は評議員会を構成し、本会に関する諸事項を審議する。
3. 会計監査は本会の会計を監査する。

第11条 評議員は正会員の中から正会員の投票により選出される。会長は評議員の互選により定める。会計監査は評議員、幹事以外の正会員の中から評議員の投票により選出される。役員の任期は2年とする。

#### 細則（抜粋）

第7条 評議員の選出は次のように行う。

1. 会長は正会員の中から3名を選んで選挙管理委員を委嘱する。選挙管理委員会は選挙事務を行う。
2. 投票は1人1票、無記名10名連記とし、郵送によるものとする。
3. 評議員は連続して4回選出されることはできない。この制限に抵触する者の氏名は選挙要項に公告される。
4. 得票者中の上位の者より順に10名を選出する。同数得票者については選挙要項に従って順位を定める。

第8条 新会長の選任は次のとおり行う。

1. 会長は新評議員を招集する。新評議員の互選により新会長を選ぶ。
2. 投票は無記名单記とする。投票総数の過半数を得た者を新会長とする。
3. 投票総数の過半数を得た者がいないときは、高点順に2名をとり改めて投票を行い、最高点者を新会長とする。このとき同点の場合には抽選により決定する。
4. 会長は連続して3回選出されることはできない。
5. 会長は評議員を兼ねるものとする。

## 2004年度日本RNA学会収支決算報告

2004年度(2004年4月1日～2005年3月31日)の学会会計収支決算は以下のようになりましたのでご報告いたします。

(2004年度会計幹事：河合剛太)

収入の部			
科目	予算額	決算額	備考
学会費	1,510,250	1,605,500	一般会員 1,295,000
賛助会費	390,000	330,000	学生会員 225,000
			海外会員 24,500
			入会金 61,000
雑収入		6,000	年会要旨集
預金利子	100	20	
収入小計	1,900,350	1,941,520	
前年繰越金	2,738,768	2,738,768	
合計	4,639,118	4,680,288	
支出の部			
科目	予算額	決算額	備考
事業費	900,000	874,799	
年報発行	150,000	94,329	No.10, 11
年会補助金	700,000	700,000	
ホームページ関連費	50,000	21,000	
その他	0	59,470	シンポジウム封筒, 謝金等
評議員費	160,000	122,530	
旅費・会議費	150,000	122,530	
その他	10,000	0	
業務委託費	685,000	635,136	
	685,000	228,000	(財)日本学会事務センター
	0	407,136	クバプロ
一般事務費	280,000	215,244	
印刷費	40,000	21,760	印刷・コピー代等
通信費	180,000	145,290	会報・請求書・委任状発送費
庶務事務費	30,000	12,600	会員情報FD作成等
雑費	30,000	35,594	払込手数料・会誌保管料
予備費	100,000	110,940	会費・会員管理用ソフトウェア
支出小計	2,125,000	1,958,649	
次年度繰越金	2,514,118	2,721,639	
合計	4,639,118	4,680,288	

## 【2004年度に発生した損金について】

(2004年度会計幹事：河合剛太)

すでに総会でご説明いたしましたように、学会事務センターの破産に伴い、損金が以下の通り発生いたしましたのでご報告いたします。

記

2005年度への最終的な繰越金



収支決算における次年度への繰越金	2,721,639 円
学会事務センター破産による損金	968,915 円
繰越金から損金を差し引いた額が実際の繰越金	1,752,724 円

以上

監査報告書

**監査報告書**

日本RNA学会  
会長 渡辺公綱 殿

平成17年4月13日  
会計監査委員 太田成男   
正木春彦 

2004年度日本RNA学会会計報告書について関係書類とともにその内容を慎重に監査した結果、正当であることを認めます。

2005年度収支予算

2005年度(2005年4月1日～2006年3月31日)の学会会計収支予算は以下の通りです。  
(2005年度会計幹事：河合剛太)

収入の部			
科目	2004年度	2005年度	備考
学会費	1,510,250	1,659,559	一般会員会費 1,398,250 (5,000円×329名×0.85)
賛助会費	390,000	330,000	学生会員会費 261,300 (2,000円×201名×0.65)
預金利子	100	100	
収入小計	1,900,350	1,989,659	
前年繰越金	2,738,768	1,752,724	
合計	4,639,118	3,742,383	
支出の部			
科目	2004年度	2005年度	備考
事業費	900,000	850,000	
年報発行	150,000	150,000	
年会補助金	700,000	700,000	
ホームページ関連費	50,000	0	
その他	0	0	
評議員費	160,000	160,000	
旅費・会議費	150,000	150,000	
その他	10,000	10,000	
業務委託費	685,000	500,000	
一般事務費	280,000	280,000	
印刷費	40,000	40,000	
通信費	180,000	180,000	
庶務事務費	30,000	30,000	
雑費	30,000	30,000	
予備費	100,000	100,000	
支出小計	2,125,000	1,890,000	
次年度繰越金	2,514,118	1,852,383	
合計	4,639,118	3,742,383	

平成18年1月4日

第8回 RNA ミーティング(第8回日本 RNA 学会年会)の  
準備状況について

会員各位

日本 RNA 学会庶務幹事  
鈴木 勉

第8回 RNA ミーティングを2006年7月18日(火)から20日(木)の予定で、兵庫県立淡路夢舞台国際会議場にて開催致します。準備委員一同、昨年同様に活気あふれる年会開催を目指していますので、どうぞ、ふるってご参加くださるようお願い致します。

【大会日程】

第8回 RNA ミーティング(第8回日本 RNA 学会年会)

会期： 2006年7月18日(火)~20日(木)

会場： 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場 (<http://www.yumebutai.org>)

懇親会： 2006年7月19日(水)夜 於兵庫県立淡路夢舞台国際会議場

(集会幹事：塩見春彦)

自動引き落とし開始のお知らせ

拝啓

時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

平素の日本 RNA 学会へのご協力を感謝します。

さて、2006年度より日本 RNA 学会年会費を、指定口座からの自動引き落としで納入可能となりました。従来は郵便振替と銀行口座への振込が主な納入方法でしたが、これからは、皆様の会費納入の手間を省き、うっかり滞納を防止するためにも、できるだけ口座からの引き落としにご協力くださいますようお願い致します。もちろん、郵便振替や銀行口座への振込を希望の方は、そのままご利用可能です。

つきましては、預金口座振替依頼書を同封しますので、必要事項をお書きいただき、捺印の上、以下の日本 RNA 学会事務局宛にご返信くださいますようお願い申し上げます。

尚、会員の皆様の中には、2006年度会費をすでに納めている方もいらっしゃるかと思います。その方々に関しましても、次年度以降の口座引き落としをご利用いただくため、今回の書類に記入していただきますようお願い申し上げます。

敬具

一般会費：5,000円

学生会費：2,000円

手数料につきまして、一回の引き落としに163円かかりますこと、ご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

日本 RNA 学会事務局 担当：伊藤・青木

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDA ビル6階

(株)クバプロ内

TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837 E-mail：rnaj@kuba.co.jp

## 日本RNA学会 会報

第13号 (2005年12月)

発行・制作：日本RNA学会 編集幹事

連絡先：名古屋大学

物質科学国際研究センター 吉久 徹

〒464-8602 名古屋市千種区不老町

電話：052-789-2950 (直通)

FAX：052-789-2491

E-mail：tyoshihi@biochem.chem.nagoya-u.ac.jp